

□■ 26 質問しちゃってください ■□

～ 3人が持つ写真の情報を他のメンバーが質問することで、ブロックによる一つの作品を作成する協力ゲームです ～

ブロックを組み立てるヒントは、異なる方向から撮った3枚の写真のみ。写真を担当する人は、それを言葉だけで伝えていきます。質問を担当する人は、質問を繰り返して正解の形を探っていきます。質問力と説明力が試されるゲームです。



プーさん

*対象…小学校高学年～
 *人数…1グループ5人～7人
 ※6人がベスト
 *時間…50分
 #写真#情報#質問力#説明力#ブロック#協力

用意するもの

- 必要なブロック2セット（※ブロックは市販のものであれば何でもよい）
- 完成した作品の写真3枚
 - A：鳥瞰^{ちようかんす}図1枚、B：鳥瞰図1枚（Aと反対方向から撮影）、
 - C：真下から撮影1枚
- クリップボード3枚
- ふりかえり用紙<資料3>
- 筆記用具、メモ用紙 各自
- タイマー(ファシリテーター用)

進め方

- (1) 写真担当に1枚ずつ写真をはさんだクリップボードを配る。他の人に写真を見せてはいけない。
- (2) 質問担当は、質問する順番を決める。1回に1人だけ一つの質問ができる。
- (3) 写真担当は質問に答えるのみで、余計なことは言わない。ブロックに触らず、指差しも禁止。

写真1 鳥瞰図1

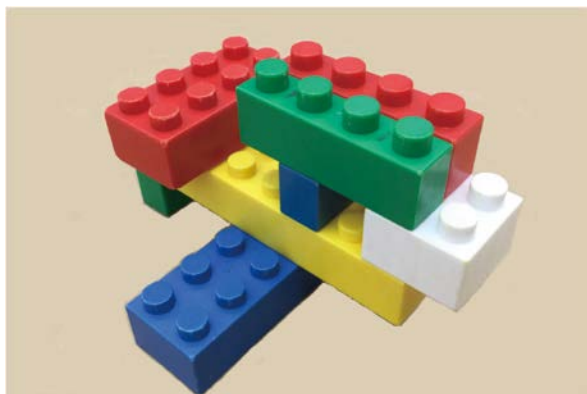


写真2 鳥瞰図2 (写真1の反対側から)

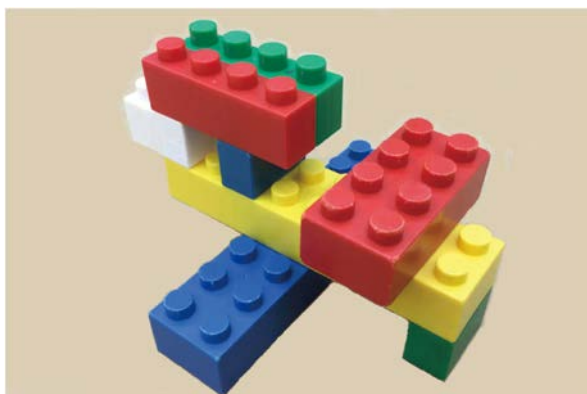
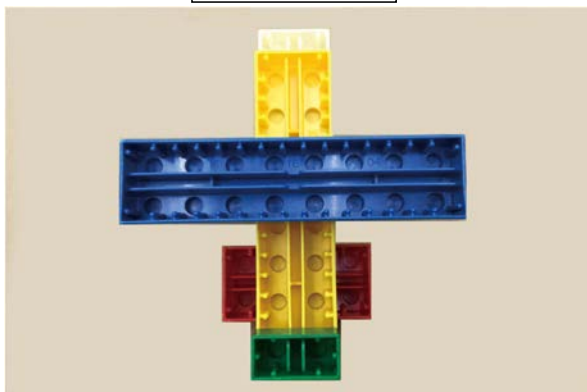


写真3 下から



くわしい手順

<準備>

- ・事前にブロックの完成作品を1セット用意して、見えないところに準備する。
- ・5～7人（6人がベスト）のグループに分けて各テーブルに座らせておく。
- ・完成に必要なブロックと写真をはさんだクリップボードを裏返しにして各テーブルにおく。

<実施>

手 順	留 意 点
1 導入(5分) ① ねらいを説明し、問題解決の実習をすることを伝える。 ② 課題とルールを読み上げる。 ③ 写真担当を決め、質問担当の順番を決める。	・ルールは繰り返して読み徹底する。 ・クリップボード（写真）は裏返しにし、合図があるまでそのまま待っている。
2 実習の実施(20分) ① 開始を告げ、タイマーをスタートする。写真担当はクリップボードの写真を見て開始する。 ② 所定の時間が来たら、グループの作業が途中で打ち切る。	・ファシリテーターは、実習の様子を見てうまく進んでいないと判断した場合、一旦実習を止めフリートーキングタイムを設ける。フリートーキングタイムでは1分間だけ、グループ全員で話し合いができる。
3 ふりかえり(20分) ① ふりかえり用紙を配布し、まず個人で記入してもらおう。(5分) ② 記入した用紙を元にグループで共有してもらおう。(15分)	・個人記入の際、他の人とは話さないと確認することを確認する。 ・司会と書記を決めさせてから、グループ共有を始める。 ※時間があれば、各グループに、ふりかえったことについて発表してもらおう。
5 まとめ(5分) 「的確な質問」「視覚情報の言語化」「協力する」という観点で話す。	・発表について、時間があれば、各グループから発表してもらい、左記の観点で出てきたことをまとめる。

バリエーション

- ・苦戦している時は、ファシリテーターが実習を止め、1分間だけ、グループ全員で話し合う。難易度や学年により、最初からルールに入れておくともよい。
- ・完成作品に含まれないブロックを入れておく。
- ・写真担当とブロック担当を入れ替えてやってみる。

ふりかえり (P. 78 参照)

- 質問担当：必要情報を引き出す質問をすることができましたか？
- 写真担当：視覚情報を的確に言語化することができましたか？
- 課題達成をするために自分がどの程度グループに協力できましたか？



質問担当（左）と写真担当（右）



正解を想像して組み立てます